

〒430-0916
静岡県浜松市中区
早馬町 2-1 クリエイト浜松 4F

公益財団法人 浜松国際交流協会
代表理事 石川 晃三様
00452394

【重要なお知らせ】

下半分が、寄付控除申請用の領収書です。



トルコ地震被災者に物資を届けるスタッフ

このたびはピースウィンズ・ジャパン（PWJ）の活動に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまからお預かりした貴重なご寄付は、世界各地の支援を必要としている人々への支援活動のために大切に活用させていただきます。

PWJ では現在、世界約 20 カ国で紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人々に対して支援を行っています。世界中に衝撃が走ったロシアによるウクライナ侵襲から一年、いまだ人々の苦難は続いています。今後は物資だけでなく、元の生活を取り戻すため病院や学校などのインフラ整備支援が求められています。また、2023 年 2 月に発生したトルコ・シリアでの地震に対しても、発災当日にすみやかにトルコに緊急支援チームを派遣して、医療・物資支援を行っています。紛争も災害も、一時の支援だけではなく、本当に平和な日常が戻る日までの長期的な支援が重要です。ピースウィンズでは引き続き支援を続けてまいります。

このような活動ができるのも、皆さまのご寄付があつてこそです。あらためて御礼申し上げます。私たちはこれからも社会課題の最前線で解決に全力を尽くす、ソーシャルイノベーション・プラットフォームとして挑戦を続けていきます。引き続き皆さまの温かいご支援を、よろしくお願い申し上げます。

領 収 書

静岡県浜松市中区早馬町 2-1 クリエイト浜松 4F
公益財団法人 浜松国際交流協会様

No. 3672316

56,385 円

上記の金額を領収しました。
但し特定非営利活動に係る事業に関連するトルコ・シリア地震緊急支援として

2023 年 4 月 12 日

※特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)は、「認定 NPO 法人」として広島県に認定されています。
※PWJ への寄付に対し優遇措置を受けるには本領収証が必要となりますので、大切に保管してください。本領収証の再発行はいたしません。
※領収書の押印を省略しておりますが、国税庁に様式を確認した有効な領収書でございます。

peace winds



支援のプロを、世界の現場へ

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

本部：〒720-1622 広島県神石郡神石高原町近田 1161-2 2F
東京：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12 富ヶ谷小川ビル 2F
TEL: 0120-252-176 Email: support@peace-winds.org

認定番号: 指令県活第 286 号 認定年月日: 2019 年 12 月 19 日

<https://peace-winds.org>

PEACE WINDS NEWS

必要な人々に
必要な支援を

peace winds



被害甚大な町へテントや物資を支援

被害が大きく、支援も届いていない都市アドゥヤマンの病院。患者さんは大型テントで雑魚寝。医療スタッフが体を休める場所もありませんでした(写真左)。ピースウィンズは姉妹団体A-PAD(アジア・パシフィック・アライアンス)とともに台湾からテントを空輸。5日後に町に110張を届けました(写真右)。



トルコ・シリア地震 緊急支援



皆様のお気持ちを現場に届けています。

地震発生の当日夜、日本から緊急支援チームがトルコに出発。「空飛ぶ捜索医療団」プロジェクトの医師・看護師らを中心にした第一陣です。提携団体とともに捜索・救助活動や医療支援、物資配布等を行いました。(2面に続く)



トルコ・ハタイ県でのレスキュー活動



シリアでのパン配布の様子



イスケンデルンの病院倒壊現場で



アルスズ郊外の家を訪問して



仮設診療所にて

現場に身を置き、 支援の届きにくい人にも支援を

犠牲者の数が増え続ける被災地。一命を取り留めた方も厳しい状況に置かれており、必要なものも、救助、食料・水、シェルターなど、刻々と変化します。ピースウィンズでは、現場のニーズにこたえながら、トルコとシリアの両国で継続して支援を行っています。

物資配布 郊外にも届ける

発災から一週間が経過しても、物資が十分に届かない地域が多数残されていました。私たちが訪れた郊外の町で出会ったのは、余震での倒壊を恐れ、壊れかけた家に入ることができずに厳しい寒さに耐えながら路上で避難生活を送る人々。行政の支援からこぼれ落ちた、支援の届きにくい地域の人々に対する継続的な支援が必要です。

物資支援の際は、仕訳と梱包の作業を現地トルコの方々が手伝っていただきました。世界中の皆様のおかげで気持ちよくもった支援を、引き続き届けていきます。

医療支援 仮設診療所を運営

提携団体の捜索・救助チームに帯同した後、ガジアンテプの町で、日本の国際協力援助隊（JDR）チームが病院を開設するまでの期間、医療ニーズに応じて仮設診療所を運営。診療室のホワイトボードに「力になりたいと日本から来ました」と書いたところ、その周りに、子どもたちや患者さんが「助けに来てくれてありがとう」と沢山の寄せ書きをしてくれました。

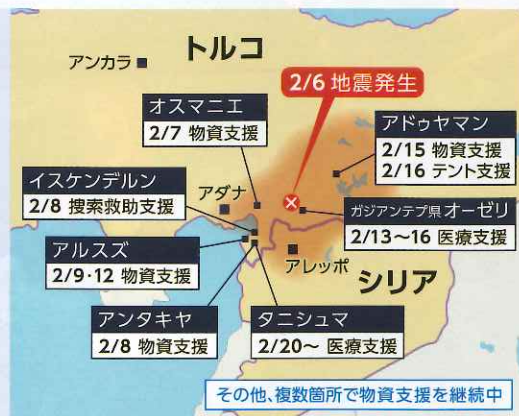
その後、医師のいなくなったハタイ県タニシュマ村においても仮設診療所を運営。所属医師などスタッフが入れ替わりで現地に入り、支援を続けています。（3月9日現在）。

継続した支援をお願いします。

トルコ・シリア両国では中長期的に支援を続けていきます。皆様も引き続き関心をお寄せください。

ピースウィンズの活動報告はYouTubeでも随時行っています（右のQRコード）。

継続支援制度「ピースサポーター」もごさいます（詳細は4面）。



※シリアでも支援を行っています。（2023年2月28日現在）

浜和国際交流協会様

このたびは素敵なイベントの寄付先にお選びいただき、誠にありがとうございます。トルコ被災地では、現在も日本から派遣されたボランティアが懸命に支援活動を続けております。



最新の状況は、YouTubeや各種SNSでお伝えしてまいりますので、今後ともぜひご関心をお寄せくださいませ。



PWJ 新井

